



予告

2017年度 文学部創設90周年・文学部校友会設立10周年記念事業

- 1 東京キャンパス プレ企画 (2017年7月予定) 講演会/懇親会  
講演会テーマ 「海を渡った立命館野球—台湾、そしてバンクーバーへ—」(仮題) 地域研究学域・地域観光学専攻 河原 典史教授
- 2 文学部創設90周年・文学部校友会設立10周年記念式典  
日時 / 2017年11月18日(土)16:00受付予定 会場 / 京都ホテルオークラ 暁雲 (4F)  
※詳細が決まり次第文学部校友会HP、Facebookにてお知らせいたします。

伝統芸能のイベントを  
予定しております。  
お楽しみに!

退職

文学部着任以来、長きにわたり教育・研究ならびに大学運営にご尽力いただきました先生方が2017年3月31日をもって定年を迎えられます。退職記念講演が行われる場合は文学部校友会HPならびにFACEBOOKにてお知らせいたしますので、ご確認ください。

 中川成美教授 日本文学研究学域 日本文学専攻 1995年4月着任	 川口能久教授 国際文化学域 英米文学専攻 1997年4月着任	 藤巻正己教授 地域研究学域 地域観光学専攻 1998年4月着任	 FOX CHARLES EDWARD教授 コミュニケーション学域 国際コミュニケーション専攻 1988年4月着任	 東山篤規教授 心理学域 心理学専攻 1996年4月着任
---	---	--	--	--

同窓会開催補助金のお知らせ

クラス・ゼミの同窓会

研究入門  
基礎講読  
基礎実験実習  
演習I-II  
ゼミナールI-II(テーマリサーチ)  
専門演習(I~IV)

専攻・プログラム同窓会

複数年度の卒業生が参加するもの

上記に該当する同窓会活動に関する経費を補助させていただきます。

■補助内容

同窓会開催に関する経費、記念誌印刷、案内郵送料、同窓会HP作成など同窓会活動に関する経費について補助します。

申請団体	補助の根拠	補助金額
専攻・同窓会	規約のない場合は専攻主任または教員の確認印。	実費支給上限50,000円
クラス・ゼミ	担当教員の確認印。確認が取れない場合は文学部校友会事務局に相談。	実費支給上限10,000円

申請方法など、詳細は立命館大学文学部校友会ホームページ「同窓会開催補助費」のページをご覧ください。  
<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/cg/lt/koyu/index.html>

文学部校友会に入会しませんか?(2006年度以前にご卒業の皆様)

文学部校友会は、2007年度、文学部創設80周年を期に設立されました。設立年度にご賛同いただいた会員の皆様は約1,000名、2007年度以降の卒業生の会員は約9,900名を数え現在、約10,900名の会員様にご支援いただいております。

文学部校友会は、専攻の枠をこえた学部校友会として、幅広い卒業生のネットワークを構築し、文学部卒業生として卒業後も交流していただくこと、その中で学生・大学院生を見守り、ともに後輩を育てていただくことを目的としてさまざまな活動・事業に取り組んでおります。そして、専攻の同窓会とも協力しながら、卒業生のみならずや文学部教職員・退職者が旧交を温めつつ、文学部校友会のなかで、新たなつながりを築いていけるよう、運営に努めております。

校友会入会にあたっては、終身会費として1万円の会費の納入をお願いしております。文学部校友会の趣旨をご理解のうえ、ぜひご入会いただき、より幅広い交流と、立命館大学文学部・文学研究科の発展にご協力いただけますようお願い申し上げます。

【文学部校友会入会手続きについて】

2006年度以前のご卒業の方が、新規にご入会いただける場合は、お手数ですが、下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。  
立命館大学 文学部校友会 電話:075-465-8187(文学部事務室内)  
mail:ltalumni@st.ritsumeai.ac.jp

訃報



■名誉教授 元文学部長 木村 一信先生(日本文学専攻)は2015年9月26日にご逝去されました。謹んで心よりご冥福をお祈りいたします。  
<在職期間 1990年4月~2015年9月>

■文学部教授 井上 公大先生(心理学専攻)は2015年7月30日にご逝去されました。謹んで心よりご冥福をお祈りいたします。  
<在職期間1969年9月~1989年8月>

秋のイベント情報



2016年度 文学部校友会懇親会  
文学部的中国の夕べ—中国琵琶の調べと中国料理を楽しむ—  
11月5日(土)京都ホテルオークラ 4F 暁雲 ..... くわしくはP.2で



ご挨拶

立命館大学文学部校友会 会長 中小路 宗隆

文学部校友の皆様、いつも私どもの活動にご支援・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

私は文学部校友会長に就任いたしましたからの5年間、常に総会・懇親会に一人でも多くの方にご参加頂きたいと思ひ幹事の皆さんと協議し、市川猿之助先生の講演、和食と日本酒の楽しみ方、図書館建設用地から採取した土で焼いた京焼きの話と京料理など、さまざまな企画をして参りました。こんな努力の効果があったのでしょうか、昨年の出席者は210名で5年前の2倍を超え、その40%が20代、30代の若い校友であった事に私は校友会の将来の発展に大きな可能性を感じました。

恩師や旧友と学生時代を懐かしみ、或は又、世代を超えた新たな出会いから活気に満ちた新たな校友会をみんなで協力して作って行くではありませんか。

今年、私達は1121名の新しい校友を迎え入れました。

この未来ある後輩たちを我々の仲間として暖かく受け入れ、今年の懇親会では「文学部の絆」を実感して頂きたいと思っています。また、衣笠キャンパスでは、今年4月に新しく「平井嘉一郎記念図書館」が完成し、学習者・研究者のニーズに応える豊かな機能を備え、学びのコミュニティの中心拠点となる快適な空間として好評です。懇親会へお越し頂く際は、是非衣笠まで足を延ばしてご覧下さい。

来年、2017年は文学部創設90周年、文学部校友会設立10周年を迎えます。そして今年の懇親会はそのための前哨戦とも言うべき催しですから、大いにこれを盛り上げて、来るべき節目の年に行きたいと思ひます。

私どもは、ホームページの充実、クラスやゼミ、専攻別同窓会活動に対する補助制度の拡充など学部校友会のあるべき姿を見据えて様々な活動をすすめて参りますので、今後もよりいっそうのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(1955年 哲学専攻 卒業 長岡天満宮・名誉官司)

皆様の声をお聞かせ下さい!

文学部校友会のこと、文学部のこと、立命館大学についてのこと、何でもけっこうです。次号より「会員の声・Eternal VOICE」に掲載していきます。文学部校友会までおたより下さい。



## CONTENTS

- 01 ご挨拶  
立命館大学文学部長 藤巻 正己  
LETTERSクイズ 回答  
伝言板
- 02 特集① 2016年度文学部校友会  
懇親会：文学部的中国のタベ  
—中国琵琶の調べと  
中国料理を楽しむ—
- 03 2015年度 総会・懇親会報告  
2015年度立命館大学文学部  
校友会決算書
- 04 2015年文学部ゼミナール大会  
校友会長賞  
専攻紹介 ピックアップ  
文化芸術専攻 土肥 秀行准教授
- 05 特集② 文学部校友の「いま」
- 07 Information

LETTERS  
クイズ  
第7号のこたえ

第7号のQは「現在立命館大学は、文学部の他、法学部・経済学部・経営学部・産業社会学部・国際関係学部・政策科学部・映像学部・理工学部・情報理工学部・生命科学部・薬学部・スポーツ健康科学部の13の学部を要していますが、文学部の設置はこれの中で何番目でしょう?」でした。

**正解は3番目**でした。

新制大学としての文学部は、法学部、経済学部とともに、1948年(昭和23年)に設置されていますが、さらに遡ると、1922年(大正12年)、大学令により立命館大学(旧制)が設置された際、法学科・経済学科を含む法学部が設置され、1927年(昭和2年)専門学部は文学部の基礎となった文学部、商学科が設置されています。その意味では、**3番目**が正解といえるでしょう。

文学部クイズへのご応募ありがとうございました。



## ご挨拶

文学部校友の皆様には、日頃から文学部へのご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。おかげをもちまして、文学部は創立89周年を迎え、教育・研究面でも内外から高い評価を受けております。

さて、文学部では2012年に8学域18専攻制へと学部改革を実施しました。学生諸君が多角的視点から人文学を学べるように、幾つかの専攻を組み合わせた学域を構成し、入試を学域単位で実施し、2回生から希望する専攻に所属する仕組みを構築しましたこれにより、21世紀の新たな人文学的知が発信できる体制が整えられたものと確信しています。なお、長年にわたり文学部人文学の柱であった心理学専攻を母体として、2016年4月に大阪いばらきキャンパスに総合心理学部が開設されました。これにともない、2015年度入試をもって心理学域の募集は停止されることになりましたが、同年度およびそれ以前の入学学生につきましては、卒業に至るまで文学部生としての確かな学びの保証を確約し、卒業後は文学部校友として活躍されることを期待しています。

大学院も2014年度より、人文学専攻・行動文化情報学専攻の2専攻から構成されることとなり、とりわけ新設の行動文化情報学専攻では伝統的人文学の蓄積に最新のデジタル人文学や自然科学・社会科学等を融合させてのプロジェクト型

## 立命館大学文学部長 藤巻 正己

研究が行われるカリキュラムが組まれることとなりました。また、新たに現代東アジア言語・文化学、文化動態学(総合人文学から改称)、英語圏文化、考古学・文化遺産、文化情報学の5専攻が設置され、これまで以上に幅広い人文学研究に取り組んでいるところです。

文学部教学の国際化に関しましては、2011年に文部科学省から採択された日韓中の学生がそれぞれのキャンパスを移動しながら学びあう「キャンパスアジア・プログラム」(CAP)が、新しい国際教育のモデルとして国内外から注目を集めてまいりました。2016年4月からは、CAPは常設化されることになりました。一昨年度、立命館大学は、APUとともに文部科学省により「Super Global University:SGU」として認証されましたが、日韓中三大学連携によるCAPはSGUとしての取り組みの一翼を担うものとして期待されています。このほか、2014年度からは学部独自の共同学位プログラム(DUDP)を、カナダ・アルバータ大学との間で開始し、英語圏の国際教育にも注力しております。

このような文学部の発展も、校友の皆様方の社会での活躍、および文学部への厚いご支援の賜物と思っております。この場をお借りしてお礼申し上げるとともに、今後も変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

## 伝言板

## ■地理学同窓会

## 「衣笠キャンパスツアー」

【日 時】2016年12月3日(土)17:10 平井嘉一郎図書館正面入口前 集合

## 「懇親会」

【日 時】2016年12月3日(土)18:30~(受付18:00)

【会 場】レストラン カルム(立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館地下1階)

【会 費】5000円(要事前申込)11/3締切

なお、2016年3月ご卒業の新入会員は3000円

【問合せ】地理学同窓会事務局

075-465-7869(地理学準備室) 075-465-1757(マップライブラリー)

## ■英米文学専攻同窓会

【日 時】2016年10月8日(土)13:00~(受付12:30)

【総会会場】大阪いばらきキャンパスC棟2階 C271号教室

【懇親会会場】Garden Terrace Lion(キャンパス内レストラン)

【懇親会会費】5000円 【問合せ】佐藤 渉 077-526-3464

特集① 2016年度文学部校友会  
懇親会案内

## 懇親会

文学部的中国のタベ  
—中国琵琶の調べと  
中国料理を楽しむ—

日時 / 2016年11月5日(土)17:00受付  
17:30~19:30

会場 / 京都ホテルオークラ 4F 暁雲  
京都市中京区河原町御池 TEL 075-211-5111

2015年度卒業生と卒業後50年の皆さまは、参加費無料といたします。

二演奏会  
懇親会中国琵琶  
日下 七海さん  
(文学部3回生)

小学2年生の時から中国琵琶を習い始め、高校1年生の時には大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門で銀賞を受賞。現在は、立命館大学孔子学院のイベントなど数多くの場で演奏されています。中国琵琶の力強い音色をぜひ体感してください!!



◆参加対象 **先着300名** 定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

文学部校友会員 ※文学部卒業生

※立命館校友と文学部校友は異なりますのでご注意ください。詳細は、会報P.7「文学部校友会に入会しませんか?」をご覧ください。

◆参加予定の先生方 ※この他にも多数の先生方が参加されます。直前情報は文学部校友会HPをご覧ください。

哲学専攻:服部 健二先生  
教育人間学専攻:林 信弘先生  
中国文学専攻:萩原 正樹先生、芳村 弘道先生、  
石井 真美子先生、村田 進先生  
英米文学専攻:川口 能久先生、中川 優子先生

日本史学専攻:杉橋 隆夫先生、本郷真紹先生、桂島宣弘先生  
東洋史学専攻:井上 充幸先生、松本 保宣先生  
西洋史学専攻:小田内 隆先生、小林 功先生、高橋 秀寿先生、森永 貴子先生  
地域観光学専攻:河原 典史先生、藤巻 正己先生  
国際コミュニケーション専攻:湯川 笑子先生  
心理学専攻:藤 健一先生、中鹿 直樹先生

## ◆参加費

文学部校友会員 **2,000円**

非会員:(入会いただいていない方・文学部校友会員の同伴の方) **3,000円**

2015年度卒業生(2016年3月・2015年9月)の方、卒業後50年(1966年《昭和41年》3月)の方は、無料でご招待いたします。

## ◆応募締切

**10月12日(水)までに、この会報「LETTERS」第8号折込みハガキでお申込ください。**

定員に達し次第、受付を終了させていただきます。文学部校友会HP、FACEBOOKにて、受付状況をお伝えしていきますので、ご覧ください。

## ◆お問合せ

文学部校友会事務局 TEL.075-465-8187 FAX.075-465-8188 月~金 9:00~17:30(ただし土日祝日を除く)



# 2015年度 文学部校友会 総会・懇親会報告

## 総会

まず、校友会設立以来8年間副会長をお勤めいただきました藤健一教授(心理学域)のご退任と、後任として河原典史教授(地域研究学域)の副会長就任のご報告がありました。次に2013年度・2014年度の活動報告、会計報告を行いました。2013年度は四代目市川猿之助氏を招いての講演会、2014年度は、イベント「日本酒と和食を楽しむ会」を開催し、年々参加者も増え、ことに若い校友の姿が目立つようになり、活気づい

## ミニ講座



今回は陶芸家の清水志郎氏と木立雅朗文学部教授が『衣笠焼』について熱く語ってくださいました。木立教授は17~18世紀には京都で陶土が採掘され仁清や乾山も使っていたが、明治以降の都市化以来、発掘現場や建設現場で陶土が捨てられている残念な状態を報告されました。そのような状況から、京都市内の土を採掘して作品を造っておられる清水氏に、衣笠キャンパス新図書館建設現場で採掘された陶土を使っていただくよう依頼されました。清水氏は、釉薬にも衣笠の土を役立てた『衣笠焼』創作秘話をお話してくださいました。

## 懇親会

ミニ講座の後は、昨年に引き続き、好評の日本酒企画第2弾イベントを行いました。今回は銘酒「神聖」でおなじみの老舗酒蔵「山本家」様にご協力いただき、今まさに飲み頃の



新酒4種をはじめ11種類ものお酒をご用意いただきました。恒例となりました



山本氏  
校友会役員による鏡開きのあとは、皆さん待ってましたといわんばかりに、日本酒カウンターへ殺到です。ホテルオークラご

自慢の和食を味わいつつ、日本酒を酌み交わし、談笑し、会場はあっという間に大賑わいにお楽しみの抽選会は、清水志郎氏作の衣笠焼のぐい呑み、山本家様の選りすぐりの日本酒、そしてホテルオークラのペアディナー券が当たるとあって、大いに期待が高まりました。当選者のはじける笑顔と各テーブルの歓声で、会場の盛り上がり最高潮に達した頃、お開きの時間となり、来年のイベントでの再会を期して終了となりました。日本酒カウンターが長蛇の列となってしまう、お酒が足りなかった方、申し訳ありませんでした。

## 「日本酒と和食と、京焼を楽しむ会」

◆日時 2015年11月21日(土) 16:00受付(16:30~19:30)  
◆会場 京都ホテルオークラ 3階 翠雲

210名が参加され過半数が会員の方々でした。当日4名が新たに文学部校友会に入会されました。



てきた状況が報告されました。

中小路宗隆校友会会長も挨拶のなかで、今回参加いただいた校友への御礼とともに、2017年度の文学部校友会設立10周年、文学部創立90周年に向けて、さらに多くの方に参加していただけるような校友会を目指していきたい、との抱負を述べられました。



## 2015年度 立命館大学文学部校友会 決算書

(会計期間: 2015年6月1日~2016年5月31日) (単位:円)

科目		2015年度予算額	2015年度決算額
収入の部	前年度繰越金	54,772,003	54,772,003
	会費(卒業生・教職員)	100,000	190,000
	会費(在校生)	11,400,000	11,740,000
	雑収入	250,000	216,615
	小計	11,750,000	12,146,615
	合計	66,522,003	66,918,618
支出の部	会報発行	1,000,000	873,656
	シンポジウム等印刷費	100,000	149,094
	入会記念品	2,600,000	2,799,589
	ホームページ運営	400,000	0
	学生・大学院生支援	150,000	10,000
	企画・懇親会関連	4,000,000	4,140,672
	運営関係	500,000	137,012
	専攻・ゼミ同窓会活動補助金	1,000,000	822,500
	文学部創立90周年記念事業積立金	1,000,000	1,000,000
	予備費	1,000,000	0
	小計	11,750,000	9,932,523
差引(次年度繰越金)	54,772,003	56,986,095	
合計	66,522,003	66,918,618	

## 校友会資産残高(2016年5月31日現在)

繰越金	
京都銀行	56,718,600
ゆうちょ銀行	190,103
現金	77,392
積立金	
文学部創立90周年記念事業	4,000,000

# 2015年度 文学部ゼミナール大会 校友会長賞

「観光イベントにおけるオーディエンスのメディア性」 地域観光学専攻4回生(受賞当時) 森 達郎 さん

私は2015年度文学部ゼミナール大会において、「観光イベントにおけるオーディエンスのメディア性」というテーマで発表し、校友会長賞をいただきました。地域観光学専攻で研究するにあたり、一番苦労したのが研究対象・研究目的を絞り、論文におけるオリジナリティーを出すことでした。観光学はまだ作られて間もない学問のため、多様なアプローチで学際的に研究することができる反面、先行研究に沿ったオリジナリティーを出すのが大変難しいことを実感しました。最終的に最も関心をもった分野が社会学のメディア研究で扱われてきたオーディエンスという概念だったため、私はオーディエンスに焦点をおいて発表すること

に決めました。

ゼミナール大会は卒業論文の執筆のため予行演習というつもりで参加しました。大人数の前で全くうまくいかないまま発表が終わわり、悔やむ部分が大きかったです。一番の収穫は、ゼミナール大会予選会で親切な大学院生との出会いを通して、方向性がある程度定まったことです。そこで、改めて研究目的に沿った論文構成の構築と目的に沿った答えを実証することの大切さに気付かされました。大会に参加することで、多様な意見を頂けたことも大変貴重な経験になりました。

## 専攻紹介 ピックアップ

「芸術へのさまざまなアプローチを学ぶ」 国際文化学域 文化芸術専攻 土肥 秀行 准教授

国際文化学域には、西洋史と英米文学とならんで、文化芸術専攻が含まれます。文化と芸術ですから、要は「なんでもあり」ですが、芸術学、文化人類学、社会学などに裏付けられた学びを展開します。「学ぶべき対象」よりも「いかに学ぶか」が重要で、どのような問題であってもアプローチにこだわります。あらゆるものはつながっていて、既存の縦割りの学問を横断的に組み合わせる柔軟に考える姿勢を身に付けます。そうして対応力や自分なりに生きるスタイルをめざします。執筆者自身は現代イタリアの文学研究をメインのフィールドにして、様々な芸術形態に目をむけています。ゼミにおいても学生の関心は歴史、社会、芸術と様々ですが、ヨーロッパの文物が具体的な分析対象となっています。留学する人も毎年数人います。卒業後、ヨーロッパの大学の院に進学する人まで!人の動きがあるのも特徴でしょう。半期に一度はアンサンブルのたのしさ、一体感を知るためにキューパーカッションのワークショップを開いています(於ムラタミュージック)。またゼミ以外で、執筆者は、隔年でトリノ大学でのイタリア語研修(3週間)に学生を引率しています。机での勉強に加え、実地でのライブ感を大切にしています。



パーカッション実践中

女性論の歴史についてゼミ発表



ゼミ集合写真



## 特集②

## 文学部校友の「いま」



文学部校友の「いま」①

## 中村 倫子さん

なかむら のりこ

英米文学専攻  
1990年卒業  
㈱高島屋京都店  
婦人服 部長

## 新たな発想とチャレンジマインド

90年に立命館大学を卒業し、現在私は、㈱高島屋京都店で婦人服部門の責任者に就いています。その中で私のミッションは、部門売上を管理し利益を最大化することです。昨今、百貨店は、経済や社会情勢に大きく影響を受け厳しい商戦が続いていますが、こんな時代だからこそ私は、お客様の心に響くような商品・仕掛けを提案できるかが売上に繋がる最大のファクターだと考えています。

一昔前、婦人服と言えば百貨店の花形でしたが、今は暮らしや食に注目が集中し、ファッションやトレンドは二の次となっています。ファッション好きの私にとっては悲しいことですが、逆に今のお客様が求める売場作りを具現化するために、売場に婦人服以外の雑貨を取り入れたり、様々なイベントを企画したりと、「前例にとられない新たなチャレンジ」に取り組んでいます。時には思わぬ好評価を得たり、業務を通

じ部下の成長を感じるときの充実感・達成感が格別のものとなっています。

京都生まれ京都市育ちの私ですが、一昨年で8年間に渡る東京での転勤生活を送りました。東京では、時代の先を見て更に発展しようとする人や企業の姿に大変な刺激を受けました。東京勤務を通じて得たものは、正に、今の私の仕事の糧となっています。

これからの時代、先行き不安な見通しばかりですが、劣勢を優勢に変えるのは、正しく「自分」に他なりません。変化に対応できる柔軟性と、新たな発想で新たなコトやモノを生み出す力こそが、次への成長に繋がると信じています。オフでは、ストレス解消にゴルフを楽しみながらも、仕事では「まだまだやれることはある」と自分を鼓舞しながら、会社や業界の発展に少しでも役立つ存在になればと思います、業務に通



文学部校友の「いま」②

## 新見 康子さん

にいみ やすこ

日本史学専攻  
1992年卒業  
真言宗総本山東寺  
文化財保護課長

## 1200年の歴史を未来へ

私は大学卒業後に東寺の学芸員となり、宝物の調査や宝物館での春秋二回の展示、文化財の修理などに携わっています。現在は、境内の史跡整備など、東寺全体の文化財の管理も行っています。

東寺は平安京ゆいいつの遺構で、ユネスコの世界文化遺産(古都京都の文化財)に登録されています。国宝・重要文化財に指定されている古建築や仏像などは多く、その修理は継続して行われていますが、とどえることがありません。宝物をよく知り、その伝来の過程や歴史的な位置づけなどを勉強しておくことは、ひじょうに重要です。修理や展示などに際して、現在における最良の選択は何なのか、不断の努力や

的確な判断が問われます。

学生時代をふりかえりますと、文化財にかかわる多くの人との出会いがありました。私は、大学2回生の時から、東寺の古建築修理や文化財調査などのアルバイトをしていました。文化財の修理という後世に残る仕事にのぞむ姿勢や考え方について、実際の現場の人々が働く姿から直接学んだことは、本当に得がたい経験でした。これは現在にいたる私の原点となっています。

2009年からは非常勤講師として、思い出の学舎である清心館で、学芸員課程の授業を担当しています。学生時代の初心を忘れることなく、日々精進していきたいと思っています。



文学部校友の「いま」③

## 中林 啓修さん

なかばやし ひろのぶ

西洋史学専攻  
2000年卒業  
阪神・淡路大震災記念  
「人と防災未来センター」  
研究員

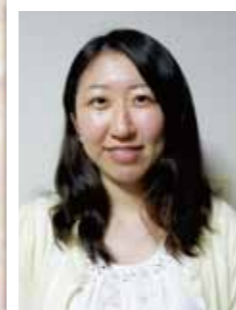
## 学問は社会正義のためにある

2000年3月に史学科西洋史専攻を卒業し、地元の大学院で随分とのんびり時間を過ごし、2008年4月に独立系のシンクタンクに就職したことでいわゆる「社会人」としての社会への関わりがスタートしました。卒業論文のテーマでもあった「ヨーロッパにおける国際河川管理」は博士論文を書く頃には「EUのテロ対策」へと大きく変わっていきましたが、「学問は社会正義のためにある」という末川清先生のお言葉が卒業から今に至るまで私自身の研究生活の基礎を作ってくれています。

そんな私が、機縁が重なって沖縄県知事公室地域安全政策課に主任研究員として赴任したのは2013年2月のことでした。以降、今年3月までの3年強、沖縄の安全保障や危機管理について自治体の立場から研究する日々を送ること

ができました。米軍基地をめぐる戦後71年を経ても続く様々な問題のために沖縄は今も揺れています。もとより日本政府の「本音」とは相容れない部分もある沖縄県の考えを「政策」という形で実現していくために研究者として下支えを提供すること、時には「筋の悪い」政府批判に流れてしまうこともある県内世論に「背を向ける」ような提言もしましたが、政策として基地負担の軽減を実現するためには何をすべきなのか、同僚たちと考え議論し続けた充実した時間でした。

今、私は神戸にある「人と防災未来センター」で研究生活を続けています。「学問とは社会正義のためにある」。文学部で学んだことを胸に、これからも沖縄と社会に貢献する研究者でありたいと願っています。



文学部校友の「いま」④

## 中村 仁美さん

なかむら ひとみ

心理学専攻  
2015年卒業  
スズキ株式会社

## 前向きに、一歩先へ

私は今、目の前の新しいことに前向きな姿勢で取り組んでいます。

スズキ株式会社に就職して、今年で入社2年目を迎えました。財務部に所属し、経理の仕事と部内の庶務、役員秘書を兼務しています。

大学では心理学を専攻し、人の行動や心の動きと社会との関係について考える社会心理学を主に学んでいました。そのため、経理で必要となる経営や会計の知識はほとんどなく、専門的な用語や考え方を理解することにいつも苦戦しています。

また部内の庶務全般をしながら、役員秘書としてスケジュール調整など役員のサポートもしています。学生時代とは全く異なる環境で、自分の仕事だけでなく周りの社員のことも気かけなければなりません。入社年数が浅いこともあ

り、周囲への気配りのし方に悩むことが多々あります。

3つの仕事をしていて大変だと思うことはよくあります。しかし、幅広い知識や視点を持つことができるため、有意義だと感じています。

大学時代に短期留学やインターンシップなど様々な経験をしましたが、自分の考えや興味から始めることに限られていました。今では新しい分野に触れ、周りの人たちの立場に立って考えることを常に意識し、学生の時とは違った方向で自分の視野を広げられていると感じています。

まだわからないことだらけで戸惑ったり間違えたりすることもありますが、前向きに一歩ずつ進み続けていきたいと思っています。